

【令和6年5月】

令和5年度「陸修会」の活動について

令和6年3月27日

陸修会事務局長

1 全般

令和6年3月18日（月）15時から16時半迄の間、公益財団法人偕行社会議室で、理事19名中15名が出席して、令和5年度第5回理事会が開催されました。

この際、令和5年度事業報告と収支決算者が審議了承されましたので、その概要について会員の皆様にご連絡するものです。

2 総括

理事会において、陸修会の令和5年度事業報告と収支決算報告が了承され、令和5年8月の臨時総会での了承事項に基づき、了承された内容は、臨時総会を開催することなく4月以降の陸修偕行社のホームページに掲載することです承された。

3 令和5年度の事業報告の概要

令和5年度は、令和6年4月の公益財団法人偕行社（以下、「偕行社」）との合同を見据え、合同後のスムーズな業務移行に資するための事業を行う。

この際、友好団体との連携を重視するも対外的な活動への参加は、最小限とする。

との方針の下、以下の事業を実施するとともに、適宜偕行社の会議に参加した。

(1) 令和5年度定期総会の開催（4月21日）

偕行社との合同について、「①陸修会は、公益財団法人偕行社と令和6年4月より合同する。②合同後の名称は「陸修偕行社」とする。③今後、偕行社で「合同協議での合意事項」に基づく意思決定がなされた場合は、別に示す時期に臨時総会を開催し、陸修会の合同後について審議する。」が了承された。

(2) 西部方面総監主催葬送式（6月18日 健軍駐屯地）

火箱副理事長が理事長代理で参列。陸修会として供花・弔電を実施

(3) 第10師団長主催葬送式（7月23日）

火箱副理事長が理事長代理で参列。陸修会として供花・弔電を実施

(4) 令和5年度臨時総会の開催（8月4日）

令和6年4月1日をもって公益財団法人偕行社と合同することが了承された。また、①「陸修会の全会員は、陸修偕行社の普通会员に移行する」などの陸修偕行社への移行について、②令和5年度の事業報告、収支決算報告については、令和5年度末に臨時総会を開催することなく、令和6年3月に開催する理事会に一任とする、③陸修偕行社の初代理事長は、火箱偕行社理事長（陸修会副理事長）が就任する、以上のことも了承された。

(5) 陸修会と偕行社の合同表明会の開催（10月6日 グランドヒル市ヶ谷）

森陸修会理事長と火箱偕行社理事長が、合意書に署名

(6) 自衛隊殉職隊員追悼式（10月21日）

森理事長が参列

(7) 偕行社企画運営会議等に陸修会理事が適時参加（12月15日、2月16日等）

(8) 上記事業を行うにあたり、5回の理事会を開催

4 令和5年度収支決算報告の概要

① 収入は、前年度繰越額を含めて、720,086円

② 支出は、総会、臨時総会の開催費用など、184,320円

③ 残金535,766円。残金は、全て公益財団法人陸修偕行社に移管する。

④ 上記内容について、保松監事が、異常のない旨報告した。